

令和7年度 事業報告書（案）

特定非営利活動法人 エナガの会

1. 活動の成果

エナガの会は、地域の医療・介護・福祉・行政の関係者が連携し、地域住民が安心して暮らせる地域づくりを目的として活動しています。

令和7年度は、前年度に再開された対面活動をさらに発展させ、「人と人とのつながりを深めること」を中心に取り組みました。特に以下の3点を重点的に行いました。

- 一、気軽に集まり話せる場の増加
- 二、医療的ケア児支援の連携体制構築
- 三、市民向けの分かりやすい情報発信

<活動の内容>

（1）多職種のつながりづくり ～対面での交流を通じた連携の強化～

医療・介護・行政など多職種が集まり、意見交換ができる場づくりを行いました。研修会・勉強会終了後の時間を活用して、気軽に意見交換できる「エナガっこの放課後」を開催しました。ここでは日々の業務では話しにくいことも気軽に共有できる環境づくりを進めました。

<活動成果>

- ・「エナガっこの放課後」の開催5回。
- ・対面での交流機会を増加することができた。意見交換で関係性が深まった
- ・職種間の理解が進むきっかけになり、連携促進のきっかけが生まれた

<課題>

- ・エナガの会について十分に知らない方もいた。PR不足があった。次年度はリーフレットの作成等を検討する。
- ・実施される研修の参加者にもよるのだが、参加職種に偏りが出た。次年度は参加しやすい方法、医師の参加を増やす方法を検討する。



お茶とお菓子を準備して
気軽に話をする雰囲気を心がけました。
講師の先生が残ってくれることもあり、
貴重な意見交換の場となりました。

<金田理事より>

1年間振り返り、まずは気軽に話せる場が実現できて良かった。しかし、エナガの会自体のPRが不十分であること、参加職種が偏りがちなこと、継続参加が難しいことが課題として残った。次年度はエナガの会を紹介するリーフレット等があればよいように感じた。来期はリーフレットでの宣伝と、参加職種の多様化をめざします。

（２）連携体制の構築支援 ～医療的ケア児支援の取り組み～

令和７年度は、「垂水区医療的ケア児連絡協議会」の事務局として活動しました。エナガの会が行ってきた多職種ネットワーク構築のノウハウが評価され、垂水区医師会から事務委託契約を結び実施しています。令和８年４月で１周年を迎えました。

関係者が定期的に情報共有や課題整理を行うことで、地域の支援体制づくりが進みました。これまでは「どこに相談すればよいか分からない」という課題があった分野でしたが、関係者同士のつながりを作る基盤として機能してきています。

<成果>

- ・垂水区医療的ケア児支援協議会 ZOOM ミーティング 11 回開催
- ・メーリングリストの登録者 63 名
- ・研修会の開催 2 回
- ・関係者・関係機関がつながるネットワークの拠点が形成できた。
- ・情報提供・共有・相談等、連携のきっかけが生まれてきている。

<課題>

- ・今後、障害者支援など制度の狭間にある分野への展開も視野に入れる。



2026 年 5 月 30 日（土）研修の様子
「医療的ケア児の褥瘡ケア
～日々のケアが笑顔につながる～」

垂水区医師会 理事 : 相原浩輝先生
エナガの会 副代表理事 : 山本哲也(薬剤師)

<各理事より>

山本理事

医師会が主体の基金事業であるが、連携ネットワーク構築が課題となっていた。垂水区医師会の相原理事より相談があり、エナガの会のノウハウによるネットワーク構築が期待され、事務委託を受けた。エナガの会は事務局機能と連携の輪を広げる役割を担えたと考えます。

中村理事

現状では地域の医療・介護ネットワークの構築は介護保険の在宅医療介護連携推進事業により実施されている。実質的には「医療介護サポートセンター」が担っています。しかし、高齢者医療・介護の分野ではない課題に対しては役割上対応できない側面があります。公的な事業では、このように対応できること、できないことがあり、そのため隙間に陥る課題があります。このような隙間の課題をエナガの会が担う意義が高いと考えています。

垂水区医療的ケア児支援協議会 ZOOM ミーティングの取り組みは、他の地域では見られない非常に意義深いものです。さらなる発展を目指したいと思います。

(3) 市民向け活動 ～多職種協働による市民フォーラム～

市民の皆さまに医療・介護を分かりやすく伝えるため、市民フォーラムを開催しました。今年度は「医療・介護の食支援」をテーマに、多職種が協力して演劇形式で発信を行いました。フォーラムは、準備段階から多くの職種が関わり、連携を深める機会となりました。

食支援がテーマであったので、栄養学を学ぶ大学生にも参加を呼びかけました。甲南女子大学と神戸学院大学の学生が 5 名参加してくれました。おいしい減塩レシピなど作成して紹介してくれました。学生に皆さんには多職種連携・協働の実際の場面を感じとってもらえたのではないかと考えます。今後につながればと考えます。

<成果>

- ・市民に分かりやすく食事の重要性を伝えることができた。
- ・多職種協働による大規模な取り組みが実現し、関係性が深まった。
- ・栄養学を学ぶ学生の参加も実現。多職種協働のイメージが伝わった。

<課題>

- ・演劇活動は負担が大きいので、負担を減らす活動を模索する。
- ・専門職・市民から意義がある活動との声が多く、2年に1回は開催する。
- ・今後はさらに若い世代の参加を拡大する。

<演劇の様子>「裕次郎さんの食改善！

～（仮称）たるみ塩6プロジェクト&医療介護の食支援6条～



怪しげな白い粉の取引・・・



若松 区長

それは、塩！「塩は6 gを目指そう！」



保健師 坂 課長



中村 代表理事
(医師)

神戸市医師会 副会長
久次米 医師

三善 理事
(介護支援専門員)

医師「塩の取り過ぎはダメ。不足もダメ」
住民「うーん、むずかしそう！」



救急隊の出動
本物！

塩の不足で意識を失う・・・

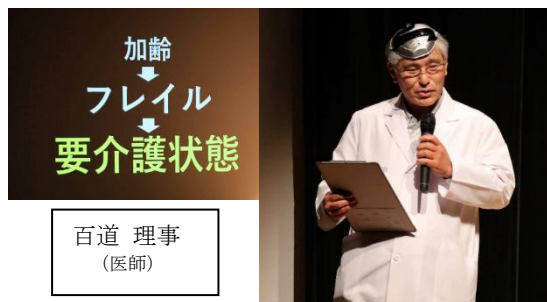


内田 理事
(看護師)

白川 監事
(医師)

医療・介護の食支援 川柳6選

- 第1句 SIO6で、おいしく減塩、健康に。
- 第2句 年一度、健診受けて、己知る。お塩はかるは、おしょう水。
- 第3句 ネットより、信じるべきは、専門家。
- 第4句 集まれば、増える栄養、心の薬。大事だよ、口腔ケアと、かみ合わせ。
- 第5句 楽しんで、食べて動いて、介護予防。
- 第6句 誰かとね、食べる喜び、元気のもと。



いつまでも元気に過ごすためにフレイル予防！



適度な運動が大切！



社会活動に参加しよう！



クイズ形式で、栄養について学習する！



減塩の工夫を紹介！



ごしきまろ（垂水観光大使）も応援



医師会 会長

久保清景 先生

歯科医師会 会長

秀 有剛 先生

薬剤師会 会長

厚東 哲治 先生

その他、警察、病院、介護施設関係者等、総勢 100 名で製作しました。

製作総指揮：中村 代表理事（医師）

監督：山本 副代表理事（薬剤師）

脚本：木村 副代表理事（社会福祉士）

<各理事より>

常深理事

活動が終わってみると市民フォーラムの意義は大きいと感じます。多職種が練習から顔を合わせて取り組むことから、本来の多職種連携が実現できます。今年度は実施していなため、顔を合わせる機会が明らかに減少しています。2年に1回程度は継続が必要と考えます。

三善理事

演劇練習の負担は大きいですが、ケアマネジャーとして訪問先で「フォーラムに出ていた人だ」と認識されることがあり、やってよかったと実感している。毎年楽しみにしている市民もおられ「次はいつですか？」と問われる。今後も活動が必要である。

白川監事

神戸学院大学薬学部の学生も参加してくれました。多職種連携の学びになっていました。若い世代への波及効果は大きいです。今後も若い人の参加を促進することが重要と考えます。

（４）講師派遣・研修支援

地域住民、医療・介護・教育・地域団体などからの依頼を受け、講師派遣や研修支援を実施しました。

地域への講師派遣では、自治会の集まりや、給食会に出向き、認知症についてや、薬についての研修を行いました。認知症サポーター養成講座では、小学校４年生に「キッズサポーター養成講座」として実施しました。高齢者福祉を学ぶ大学生にも参加してもらいました。これらは、地域包括支援センターや、自治会とのつながりから実現しています。

専門職への研修については、記録の方法、自己覚知、高齢者虐待防止など援助力向上のための研修から法定研修に至るまで、多岐にわたり行いました。特に、認知症サポート医等フォローアップ研修は神戸市（行政）、神戸市医師会の委託を受けて行っています。認知症の支援も多職種連携が重要でありエナガの会のノウハウが重要となっています。

神戸薬科大学エクステンションセンターが行う「地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム実習」では、エナガの会のネットワークを駆使し、介護老人保健施設、介護付有料老人ホーム、訪問看護ステーションでの実習をコーディネートしました。

また、新たな取り組みとして、専門職の役割を分かりやすく伝える動画作成にも着手しました。10分から15分で、普段は聞けない専門職の考えをインタビュー形式で作成した動画です。これは、先程の「地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム実習」の事前プログラムとして参加者に視聴してもらいました。今後はさらに動画を作成し、YouTubeでの公開を考えています。

<成果>

- ・地域への講師派遣：ふれあい給食会 ２回、認知症キッズサポーター養成講座 ２回
- ・地域の給食会に出向き講演することで、地域とのつながり作りとなった。
- ・認知症サポート医等フォローアップ研修は神戸市（行政）、神戸市医師会より委託を受ける。
- ・「地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム実習」の実施。

<課題>

- ・薬剤師養成プログラムは参加者に好評であった。しかし、今年度は応募者がいないことが課題。

<各理事より>

藤井理事

薬剤師養成プログラムにおける施設実習では、施設における薬の管理実態、看護師や介護士の薬に対する悩み、与薬状況、患者の生活の様子など、薬局薬剤師が普段は見ることができない有益な学びがあった報告を受けている。意義がある活動であると考えています。

鎌尾理事

薬剤師養成プログラムは参加者からも好評でした。今年度は現状、応募者がいないことが課題です。

2. 令和6年度の活動報告

(1) 市民向けイベント

11/30(日)	垂水区市民フォーラム 多職種協働による演劇公演 「裕次郎さんの食改善！ ～（仮称）たるみ SI06 プロジェクト& 医療介護の食支援 6 条～」	神戸市立垂水文化センター レバンテホール	
7/4（金）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、 藤井、清水
7/9（水）	市民フォーラム実行委員会	垂水区医師会館	中村、木村、山本、常深、
8/17（日）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、 清水、鈴木
8/20（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
8/25（月）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	木村、山本、常深、清水 鈴木
9/2（火）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、
9/3（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
9/6（土）	市民フォーラム打合わせ	COCOS	木村、山本、常深、清水、 鈴木
9/12（金）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、 清水
9/15（月）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	木村、山本、常深、清水
9/17（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
9/24（水）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、 清水
10/1（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	木村他多数
10/9（木）	市民フォーラム打合せ	アルファ薬局+zoom	中村、木村、山本、常深、 清水
10/15（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
10/24（金）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、 清水
10/27（月）	市民フォーラム会場スタッフ打合せ	レバンテホール	山本
10/29（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
11/7（金）	懇親会会場打ち合わせ	Tooth Tooth	木村、山本、常深、清水
11/12（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
11/19（水）	市民フォーラム練習	垂水区医師会館	中村他多数
11/21（金）	市民フォーラム打合せ	Zoom 会議	中村、木村、山本、常深、 清水
3/26（木）	市民フォーラム打合せ	福田彩樹の家	中村、木村、山本、常深、 藤井、百道、近藤、清水
5/13（水）	市民啓発実行委員会	垂水区医師会館	木村、山本
6/10（水）	市民啓発実行委員会	垂水区医師会館+Zoom	

(2) 研修事業

＜医療・介護の専門職を対象とした多職種連携促進の為の研修＞

＜垂水区医療的ケア児支援協議会＞

7/10(木)	第5回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
7/24(木)	第6回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
8/28(木)	第7回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
9/11(木)	第8回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
9/25(木)	第9回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
10/9(木)	第10回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
10/23(木)	第11回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
12/4(木)	第12回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
1/22(木)	第13回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
2/26(木)	第14回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
3/26(木)	第15回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本
4/23(木)	第16回	垂水区医療的ケア児支援協議会	Zoom	山本

＜医療的ケア児支援協議会 研修会＞

8/28(木)	垂水区医療的ケア児支援協議会研修会打ち合わせ	Zoom	山本
9/27(土)	垂水区医療的ケア児支援協議会研修会	垂水区医師会館	山本、金田
3/16(月)	垂水区医療的ケア児支援協議会事業打ち合わせ	Zoom	山本
5/15(金)	垂水区医療的ケア児支援協議会研修会打ち合わせ	Zoom	山本、金田
5/30(土)	垂水区医療的ケア児支援協議会研修会	垂水区医師会館	山本、金田

＜エナガっこの放課後＞

7/26(土)	エナガっこの放課後	垂水区医師会館	山本、金田
8/23(土)	エナガっこの放課後	垂水区医師会館	山本、金田
1/24(土)	エナガっこの放課後	垂水区医師会館	山本、金田
2/26(木)	エナガっこの放課後	垂水区医師会館	山本、金田、木村
6/18(木)	エナガっこの放課後	垂水区医師会館	山本、金田

＜その他＞

9/6(土)	納涼懇親会	塩屋カントリークラブ	34名参加
11/30(日)	市民フォーラム慰労会	Tooth Tooth	58名参加

＜地域住民向け啓発研修＞

1/23(金)	桃山台ふれあい給食会講演	桃山台地域福祉センター	山本
2/27(金)	桃山台ふれあい給食会講演	桃山台地域福祉センター	山本
5/22(金)	認知症サポーター養成講座	千代ヶ丘自治会館	
	垂水区千代ヶ丘自治会・婦人会・民児協		木村

＜小学校・中学校での研修＞

- 9/18（木） 認知症キッズサポーター養成講座：神戸市立山の手小学校（4年生） 木村
11/28（木） 認知症キッズサポーター養成講座：神戸市立多井畑小学校（4年生） 木村
6/15（月） 認知症サポーター養成講座：神戸国際大学 理学療法士科（1回生） 木村

＜医療・介護事業所向け研修＞

- 9/3（水） 株式会社ポピンズファミリーケアサービス職員研修（株）ポピンズファミリーケア大阪支社
「認知症ケアの基本とコミュニケーション術
～認知機能の状況と、タイプ別の関わり方について～」 木村
9/16（火） Tライン高齢者虐待防止研修 木村
10/23（木） 明石市社会福祉協議会職員研修（明石市立総合福祉センター）
10/30（木） 「支援経過記録～地域包括ケアは記録が命！～」 木村
11/3（月） 神戸薬科大学エクステンションセンター第69回薬剤師実践塾
（神戸薬科大学地域連携サテライトセンター）
「医療的ケア児の支援、今、どうなっているの？
～薬剤師・多職種には何ができる？ 基本から学び、一緒に考えよう～」
山本、相原、加藤、木村
2/19（木） 高齢者虐待防止研修：看護小規模多機能居宅介護せんじゅ 木村
2/26（木） 垂水区医療介護サポートセンター研修（垂水区医師会館）
「専門職の自己覚知パート1～価値を大切にしたい ACP のために～」 木村
2/28（土） 認知症サポート医等フォローアップ研修（神戸市医師会会館）
12/18-3/13 神戸薬科大学エクステンションセンター地域医療多職種連携に積極的に関わる
薬剤師養成プログラム実習
実習施設：介護老人保健施設 名谷すみれ苑、
垂水名谷あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）
介護付有料老人ホームMボヌール
西部しあわせ訪問看護ステーション

（3）垂水区地域ケア推進検討委員会への参加

- 7/31（木） 地域ケア推進検討委員会 垂水区医師会館 中村、山本
11/27（木） 地域ケア推進検討委員会 Zoom 中村、木村、山本
3/26（木） 地域ケア推進検討委員会 垂水区医師会館 中村、木村、山本

（4）各地域の多職種連携促進サポート活動

なし

（5）調査研究・学会発表等

- 2025年9/27（土）日本保健医療社会福祉学会第35回大会
会場：日本医療大学（北海道：札幌市）
演題「医療・介護の連携推進を目指した多職種協働演劇活動の取組
～医療介護福祉の地域連携尺度調査を試みて～」 ZOOM にて発表。（木村）
2026年6/8～ 認知症に関するアンケート（Google フォームアンケート）

（６）市民向け情報発信～YouTube チャンネル「エナガラジオ」～

- ・ 4本の動画を公開中。「超初心者 介護保険申請の方法」は視聴回数 1047 回（2026 年 6 月 22 日現在）となっている。

3、事業実施体制

（１）理事会等実施状況

7/3（木）	監査	アルファ薬局	山本、白川
8/27（金）	定時総会打ち合わせ（資料）	Zoom 会議	中村、木村、山本、戎、 鎌尾
9/6（土）	定時総会	塩屋カントリークラブ	中村他
9/30（火）	行政への報告書類提出	電子メール	山本
6/26（金）	理事会	Zoom 会議	

（２）事務局体制

代表理事 1 名
副代表 2 名（各種窓口、企画）

（３）会員

正会員（個人）	76 名	（前年度より＋１）
（法人）	2 法人	（前年度より変化なし）
賛助会員（個人）	1 名	（前年度より＋１）
（法人）	1 法人	（前年度より変化なし）

（４）ボランティア

今年度はありません。今後、地域活動等への参加を考えています。

（５）連携グループ

垂水区医師会、垂水区薬剤師会、垂水区歯科医師会、神戸市垂水区役所
神戸市ケアマネジャー連絡会垂水支部

（６）寄付金について

個人 9 名 より寄付

4、その他の事業

- ・ 実施なし

以上